

News Release

文部科学省「学びの充実など教育課題の解決に向けた 教育分野特化の生成 AI の実証研究事業」に採択

～AI による「授業づくりパートナー」が教員を支援し、児童生徒の学びの質向上へ～

2026 年 1 月 21 日

コニカミノルタジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：一條 啓介、以下 コニカミノルタジャパン）は、文部科学省「生成 AI の活用を通じた教育課題の解決・教育 DX の加速 『学びの充実など教育課題の解決に向けた教育分野特化の生成 AI の実証研究事業』（令和 6 年度補正予算事業）」において、テーマ i 「個別最適・協働的な学びの深化の実現」の実証事業者として採択されました。現在、群馬県北群馬郡吉岡町立吉岡中学校、大阪府箕面市立彩都の丘学園において、教員の専門性を踏まえた授業計画力の向上による児童生徒の学びの深化の実現に向け、生成 AI を活用した授業づくりの実証研究に取り組んでいます。

昨今の学校教育現場では教員の世代交代や教員志望者の減少が進み、様々な課題が生じています。学校教育の根幹となる授業においても、若手教員からは「授業や単元の目的を明確にできず、児童生徒の学びを深める授業が実施できていない」という悩みが多く聞かれています。こうした状況の中で、個々の教員が質の高い授業を提供できる環境づくりや、指導力を継続的に高めていくための仕組みづくりが求められています。

これらの課題に対しコニカミノルタジャパンは、「授業づくりパートナー」として学習指導要領や児童生徒の学習データ、学校や教職員に関する独自のデータを活用した生成 AI との対話を通じて、教員の授業計画力・専門性の向上を支援する可能性を検証していきます。また教員の授業づくりにおける負担を軽減するだけでなく、目的の明確な授業の実施によって、児童生徒が楽しく前向きに学びを深められる環境の実現を目指します。

【群馬県吉岡町教育委員会 担当者のコメント】

吉岡町では「HiBALI プラン」を掲げ、自ら考え行動できる子供たちの育成を目指しています。その中心にあるのは、先生が決まった内容を「こなす」授業から、子供たちと共に学びを「創造する」授業への転換です。授業づくりは本来、先生にとって最もクリエイティブな仕事です。本実証事業では、先生が生成 AI をパートナーとして迎えることで、学習指導要領をベースにしつつも、先生ご自身の強みや子供たちの実態を柔軟に掛け合わせ、先生と子供たちに合った授業をデザインします。先生が一方的に教えるのではなく、ICT も活用しながら子供たちと一緒にになって問い合わせを立て、解決していく。先生自身がクリエイティブに授業づくりを楽しみ、そのワクワク感が子供たちの深い学びへとつながる、そんな新しい授業の形を本気で実現していきます。

【大阪府箕面市教育委員会 担当者のコメント】

授業改善や新たな授業づくりにおいては、教員が多岐にわたる知識・情報、そしてこれまでの

経験を総合的に統合する必要があり、その上で指導案へと具体的に落とし込む作業は、難易度が高いという課題があります。また、子どもたち一人ひとりの学習データや、膨大な数の教材・教育リソースの中から、最適な組み合わせや活用パターンを見出し、それを指導案に反映させる余地が大きいことも、現場の教育課題として挙げられます。

こうした課題の解決に向けて、生成 AI 技術をどのように教育分野に特化させ、効果的かつ有効な指導案作成の支援を実現できるのかが重要な論点となります。生成 AI が、教員の指導案作成における情報収集や整理、教材の選定、学習活動の提案などをサポートすることで、教員の負担を大幅に軽減しつつ、授業設計そのものの質や創造性を高めることが期待されます。

【文部科学省「学びの充実など教育課題の解決に向けた教育分野特化の生成 AI の実証研究事業】 概要】

近年、多言語対応が必要な外国にルーツを持つ子供・保護者への対応や、一人ひとりに合った個別最適な学習コンテンツの生成・提供などにおいて、生成 AI の活用が期待されています。しかし、汎用型の基盤モデルのみでは十分な実証が難しく、教育分野に特化させるための参照データの整備やモデルのチューニング、現場での実装の在り方など、様々な検討が必要とされています。

本実証事業は、多様な子供たちの状況に対応し、個別最適・協働的な学びを実現することが求められる中、それに対する生成 AI の活用可能性を整理・検証し、教育分野に特化した生成 AI のモデル・サービスの開発等を通じて、課題解決の可能性を検証するものです。

詳しくは以下をご参照ください。

- 文部科学省 実証研究事業 概要ページ :

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1416148_00009.htm

- 実証概要・実証事業者一覧 (PDF) :

https://www.mext.go.jp/content/20250808-mxt_syuukyo01-000042009_1.pdf

【コニカミノルタジャパンの教育業界における取り組みについて】

コニカミノルタジャパンは、学び方や理解のペースが異なる多様な児童生徒への学びの機会の提供と個別最適な学びの実現、また教員不足や多忙な職場環境といった教育現場における社会課題の解決を目指し、初等中等教育に特化した対話型生成 AI やデータ分析を活用した学習支援サービス「[tomoLinks](#)」を 2019 年より展開しています。「tomoLinks」を学校の教育プラットフォームとして導入することで、教育における DX ツールとして、デジタル端末の利用だけでなく教育データの効果的な活用が可能となり、児童生徒一人ひとりの力を最大限に引き出す個別教育の実現を推進します。

学校教育向けソリューション

tomoLinks

「tomoLinks」は、コニカミノルタ株式会社の登録商標です。

【お客様のお問い合わせ先】

コニカミノルタジャパン株式会社

ICW 事業統括部 教育 DX 事業開発部

<https://bs-offers.konicaminolta.jp/tomolinks/contact>

(お問い合わせフォームよりご連絡ください)

----- 報道関係お問い合わせ先 -----

コニカミノルタジャパン株式会社 コーポレート本部 広報部

TEL : 03-6311-9460